

平成26年度

一般会計 当初予算（案）の概要

市民総参加による「和のまちづくり」と
市民総幸福の限りない増進と発展への挑戦

～北近畿新時代における経済の再生・好循環と
くらしの安全・安心の実現へ～

京丹後市

■ 予算の概要

【予算】

① 予算のポイント

② 予算の規模

③ 北近畿新時代における経済の再生・好循環実現の総力推進

(1) 産業の発展と雇用の促進

(2) 京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

④ 暮らしの安全・安心の全力確保

(1) 未来へのまちづくりの振興

(2) 安心・安全のまちづくりの促進

(3) 健全な行財政基盤づくりの推進

⑤ 開かれた予算編成

⑥ 各予算の状況

■予算のポイント

◆北近畿新時代の幕開け、京丹後市の新たな未来へ！

北近畿新時代における 経済の再生・好循環実現の総力推進

- ①「産業の発展と雇用の促進」
- ②「京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進」

くらしの 安全・安心の全力確保

- ①「未来へのまちづくりの振興」
- ②「安全・安心のまちづくりの促進」
- ③「健全な財政基盤づくりの推進」

京丹後市の 未来発展へ!!

平成26年度は、舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道の全線開通により京阪神、北陸などへの交通網が整備され、経済発展に必要となる社会インフラが飛躍的に向上、北近畿新時代への幕開けとなります。また、市制10周年という節目となる年度でもあることから、これを機会として京丹後市は新たな未来へ向け本格始動します。

▼予算のポイント

平成26年度は3T※（「Targeted」、「Timely」、「Temporary」）のキーワードにより、まだまだ厳しい経済・雇用情勢にある中、未来へ向けて「経済の再生と好循環の実現」「くらしの安全・安心」を柱に、各種事業予算を展開していきます。

※「3Tとは」

標的（ターゲット）を定め、集中的（一時的：テンポラリー）に積極策を時機を逸することなく（タイムリー）実施していくこと

■ 予算の規模

一般会計予算

341.9億円

市発足後最大の当初予算規模

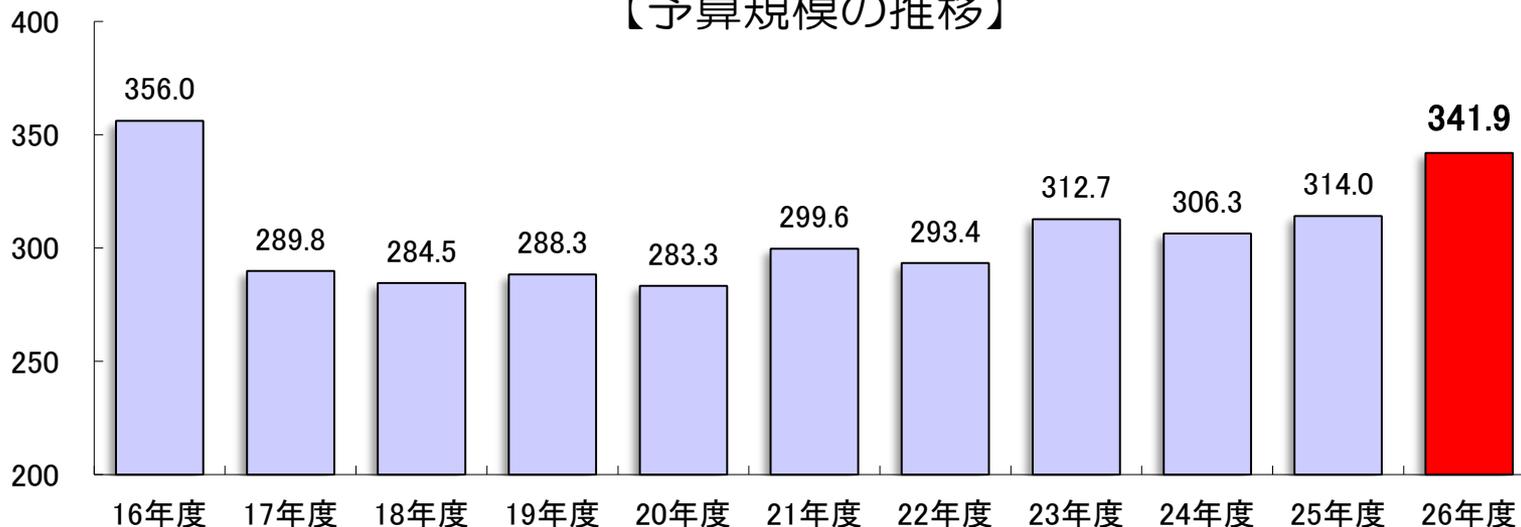
(合併時のH16年度を除く)

(H25 : 314.0億円)

対前年度 8.9%増

億円

【予算規模の推移】



※16年度は合併による旧町打切分を含む

※20年度、24年度は骨格型予算

■ 経済の再生と好循環の実現へ向けて

■ 産業の発展と雇用の促進

▼ 商工業総合振興条例、新経済戦略等に基づく経済再生への積極支援（一部事業抜粋）

【新規事業】

・生産設備リース導入支援事業補助金	135万円
・事業継続計画策定支援補助金	15万円
・松本重太郎シンポジウム（仮称）の開催	652万円
・京丹後型ワークスタイル創出への検討	39万円
・コミュニティビジネス応援条例の推進	1,133万円
・京丹後米ブランド化推進事業の実施	525万円
・京都そば（仮称）のブランド化研究	57万円
・宇治茶産地確立支援事業補助金	112万円
・里の地域活力再生事業補助	672万円

【拡充・継続事業】

・信用保証料補助金	4,500万円
・京丹後経済成長戦略新懇話会の開催	200万円
・就職促進・人材確保対策支援	237万円
・地域雇用環境整備特別対策事業	8,413万円
・商工業支援補助金	1,256万円
・工場立地奨励金・助成金	1,610万円
・織物合理化設備導入支援事業補助金	400万円
・「シルクのまちづくり」推進	232万円
・産学連携研究等促進事業費補助金	200万円
・日本一の特A米産地づくり推進事業補助金	100万円

経済再生

経済の好循環

■ 経済の再生と好循環の実現へ向けて

■ 京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

▼ 海の京都推進に向けた事業の充実

- ・ 「海の京都」マスタープラン推進事業
- ・ ジオパーク推進事業
- ・ 日本一の砂浜海岸づくり事業
- ・ かぶと山園地整備事業

総額7,575万円

1,374万円
2,099万円
1,812万円
2,290万円



【海の京都マスタープラン推進】

夕日広場（仮称）の整備など

【ジオパーク推進】

世界認定審査に向けた取り組みなど



目指す
効果

【かぶと山園地整備】

かぶと山展望台に係る駐車場整備など

【日本一の砂浜海岸づくり】

小天橋海岸から浜詰海岸への
遊歩道整備など

- ・ 地域活性化の推進、交流人口の増加
- ・ 年中砂浜がにぎわうことによる四季型・滞在型観光の新たな展開

▼ 観光振興計画に基づく経済再生への積極支援

- ・ 観光のまちづくり推進事業の実施 1,055万円
- ・ スポーツのまちづくりの推進 1,703万円
⇒丹後100kmウルトラマラソンの国際親善プレ大会等の実施
- ・ 「Wi-Fi」利用環境の提供 116万円
⇒公共施設にスマートフォン等からネットへの接続を可能とする「Wi-Fi」スポットを開設

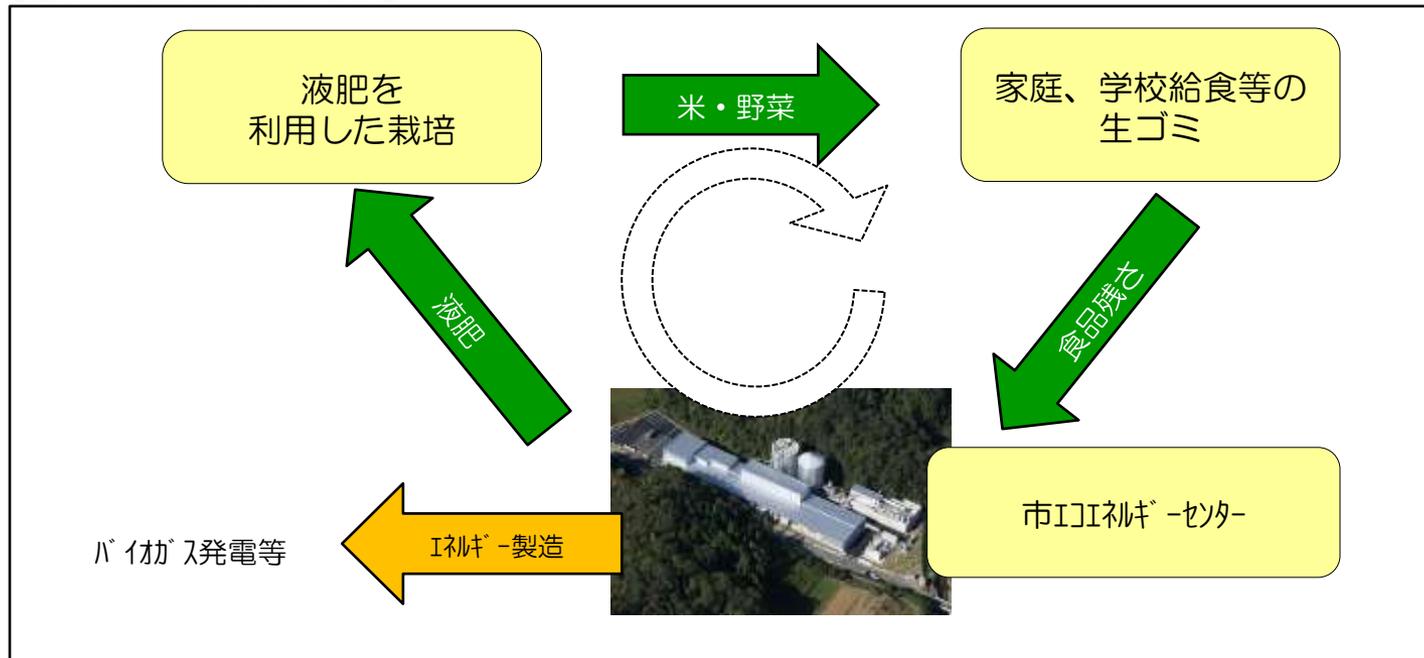
■ 経済の再生と好循環の実現へ向けて

■ 京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

▼ 環境にやさしい地域づくりの推進

- 生ごみゼロエミッションの促進 1,730万円
⇒市内の生ごみの資源化や食品リサイクル液肥の利用推進等、循環推進事業を実施
- 再生可能エネルギー推進事業の実施 972万円
⇒再生可能エネルギー利用可能施設検証、利活用まちづくり調査、導入促進支援補助金の創設等
- 環境首都自治体全国フォーラムの開催 150万円

【生ゴミゼロエミッション】



■ 経済の再生と好循環の実現へ向けて

■ 京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

▼ 市制10周年記念事業を契機としたまちの活性化（一部事業抜粋）

【実行委員会事業】

- ・フィールドミュージアム全市展開事業
- ・京丹後 花月（仮称）の開催等

平成26年4月～12月

重点取組期間 平成26年9月～10月

【京丹後フィールドミュージアム事業】

- ・山陰海岸ジオパークを活用し宝探しイベント
- ・おもてなし観光 京丹後農家民泊・ホームステイ観光事業

【市民が一体となるまちづくり】

- ・市域花いっぱい・観光おもてなし事業
- ・京丹後フィルムウィーク
- ・大相撲 京丹後場所開催補助金（10月19日開催）

【京丹後市まるごと情報発信】

- ・松本重太郎シンポジウム（仮称）の開催
- ・駅のミュージアム化（愛称決定に伴う整備）
- ・全国的な会議開催（全国公共政策フォーラム等：10・11月）

▼ 丹後文化の情報発信を促進

- ・（仮称）「大丹後展」開催準備（H27.11月～12月開催予定） 212万円
⇒京都縦貫道全通にあわせ、丹後の歴史・文化を広く周知
- ・丹後と名古屋（東海地方）の方言等文化のルーツ調査 41万円
⇒丹後と名古屋（東海地方）の方言等が類似していることから、これに係るルーツを調査

■ 本市発足後、最大規模の建設投資（P13参照）

学校耐震化、統合保育所、新火葬場、消防救急デジタル無線整備など大型の建設事業を実施。

■くらしの安全・安心に向けて

■未来へのまちづくりの振興

▼子育て・教育のまちづくりの推進

・教育支援センターの運営	891万円
・小中一貫教育校の導入	209万円
・学習支援体制の整備	249万円
・「京丹後市教育振興計画」の策定	192万円
・統合保育所整備事業の実施	9億3,738万円
・私立保育所の運営	1億6,232万円など

▼生涯を現役で過ごせるまちづくりの推進

・健康大長寿のさとづくりフォーラム・ 生涯現役サミットの実施	256万円
・百寿者の長寿秘訣集の発行	100万円
・老人クラブ活性化支援補助金	929万円
・高齢者大学院（仮称）の開催	38万円など

▼未来へつながるまちづくりの支援

・「京丹後市夢まちづくり大学」の創設・推進	1,640万円
・コミュニティビジネス応援条例の推進（再掲）	1,133万円
・多文化共生の推進	88万円
・スマート・エコ、子育て、バリアフリー 住宅改修費助成金	2,000万円
・地域振興交付金の交付	1億2,647万円
・市民力活性化推進プロジェクト事業補助金	400万円など

「ひとの力・能力は
無限の可能性」

市民の力を伸ばす
仕組みの提供

■くらしの安全・安心に向けて

■安心・安全のまちづくりの促進

▼くらしを守る相談体制の充実・支援

- ・寄り添い支援センターでの各種支援事業の実施 3,957万円
 - 自立相談支援
 - 就労準備支援
 - 学習支援
 - 一時生活支援など
- ・自殺予防対策への取組など 303万円
 - こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会の実施
 - 臨床心理士を採用し支援体制の強化
 - こころの健康づくり講演会の実施など
- ・くらしの支援ガイドの発行 241万円

寄り添い支援総合 サポートセンター

- 「くらし」と「しごと」の寄り添い支援センター
- 消費生活センター
- 多重債務相談・支援室
- 市民相談室

日々の悩みや債務問題、訪問販売、様々な生活にまつわる問題、また、仕事に関する問題など、相談から支援までをワンストップで行っています。

▼福祉・医療分野の充実

- ・臨時福祉給付金 2億1,000万円
- ・障害者施設製品販売支援事業 665万円
- ・公的病院等運営事業補助金 2,600万円
- ・医療確保奨学金等貸付金 1,500万円
など

▼市民と協働で行う安心安全の確保

- ・住民に身近な市道環境の整備・充実 1億2,905万円
- ・LED防犯灯設置費補助金 459万円
- ・サルの個体数調整捕獲の実施 491万円
など

▼災害に強いまちづくりの推進

- ・避難施設への太陽光発電設備等の設置 6,857万円
- ・橋梁の長寿命化の実施 4,021万円
- ・網野地域の内水処理対策 3億4,684万円
- ・消防救急デジタル無線整備事業 2億3,700万円
- ・高機能消防指令システム更新 4億1,600万円
- ・災害備蓄物資等の準備 708万円
- ・小学校施設の耐震補強等の実施 3億7,829万円
- ・中学校施設の耐震補強等の実施 2億2,511万円
など

■くらしの安全・安心に向けて

■健全な行財政基盤づくりの推進

▼行政基盤の維持・充実

- 「地域にぎわい創り推進員」の強化（6人⇒12人へ） 2,434万円
地域自治活動の活性化と市民局のにぎわいづくりをより積極的に推進
- 第2次京丹後市総合計画の策定 535万円 • 幸福度指標の策定、シンポジウム開催 141万円
- 庁舎再配置事業の実施 1,453万円
弥栄庁舎の移設準備及び本庁機能の今後の在り方等について具体的に検討
- 「総合窓口案内係員」の設置 112万円
親しまれる市役所づくりの一環として峰山庁舎に「総合窓口案内係員」を試行的に配置

▼財政基盤の安定に向けて

- 『合併逓減』開始まで残り1年
合併による財政の特例措置が平成27年度以降は逓減・廃止、平成27年度以降の持続可能な財政運営を目指す
- 第3次京丹後市行財政改革大綱の制定

平成27年度以降の普通交付税等の合併算定替の逓減及び合併特例事業債の適用廃止に伴う急激な市民サービスの低下を抑制するため、合併特例措置終了後の財源構造を想定し、持続可能な財政運営に向けた具体的な取り組みとして「合併特例措置逓減対策準備基金」を継続積立、また、併せて第3次京丹後市行財政改革大綱を制定していきます。

平成26年度積立額 5億円（平成26年度末現在高見込額27.5億円）

合併特例措置のある期間において、その一部を基金に積み立て、後年度にその基金を活用することで、削減額の激変緩和と削減期間の実質的な延長を目指す

■開かれた予算編成

■予算編成

▼予算編成過程等の公開

市民のみなさんに関われた予算編成を行うため、予算編成方針の公開、予算編成過程の財政課・財務部長査定、市長査定の状況について、それぞれ査定が終了した段階で公開

▼各地区からの復活要望の調整

各地区からの要望に対する査定結果の開示を実施最終決定に先立ち復活要望について調整

●地区復活要望事業 H26 29事業

(H25) 28事業 (H24) - (H23) 30事業 (H22) 34事業
(H21) 20事業 (H20) - (H19) 24事業 (H18) 26事業 (H17) 32事業

●最終追加復活事業 H26 8事業 2,650万円

(H25) 10事業 1,876万円 (H24) - (H23) 13事業 1,870万円 (H22) 18事業 2,073万円
(H21) 3事業 700万円 (H20) - (H19) 17事業 4,380万円 (H18) 12事業 5,258万円
(H17) 9事業 5,915万円

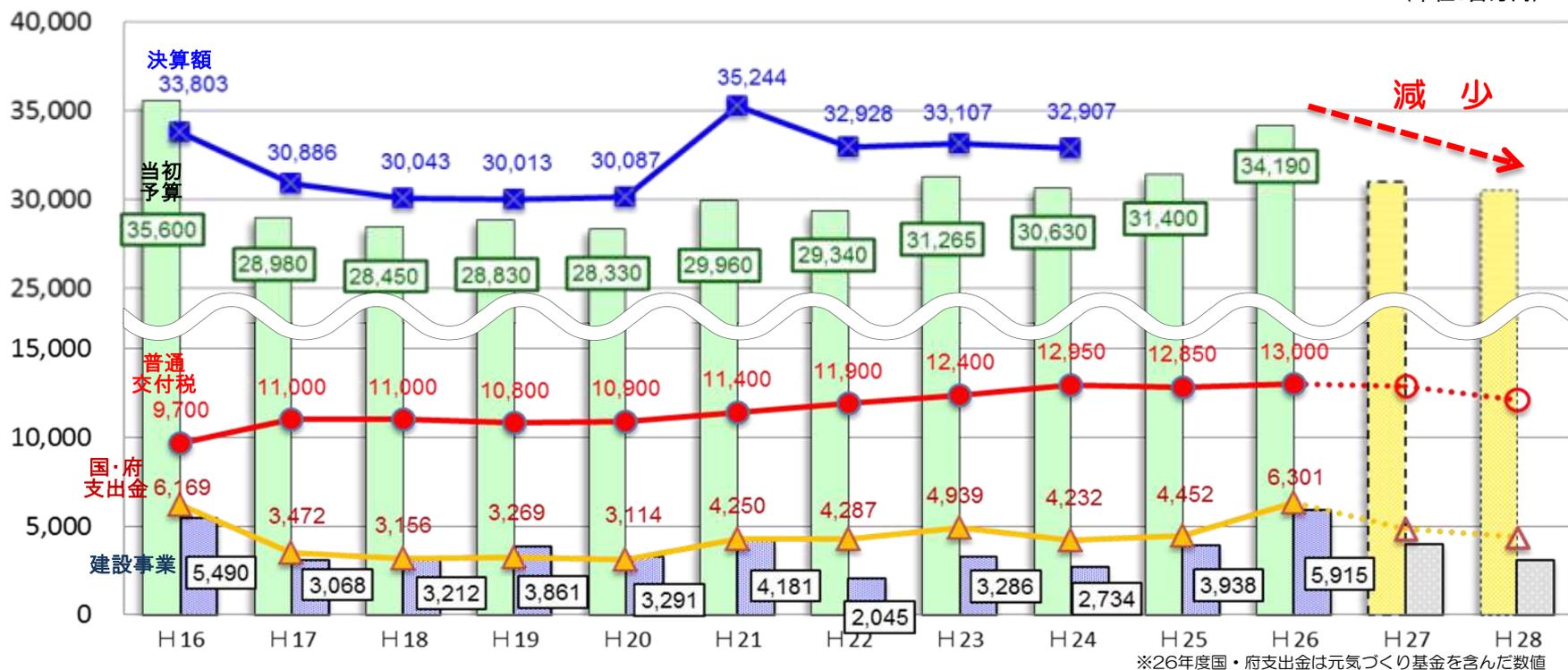
※H20年度、H24年度当初予算は骨格予算であったことから復活要望の取り組みは未実施

■ 予算の推移

■ 一般会計、及びこのうち普通建設事業の状況 並びに国・府支出金、交付税の状況

学校耐震化整備、統合保育所整備などの大型建設事業の増加に伴い、予算額も増加しているが、国、府等の補助金もあわせて積極的に活用。

(単位: 百万円)



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
当初予算額	35,600	28,980	28,450	28,830	28,330	29,960	29,340	31,265	30,630	31,400	34,190		
決算額	33,803	30,886	30,043	30,013	30,087	35,244	32,928	33,107	32,907	-	-		
普通交付税	9,700	11,000	11,000	10,800	10,900	11,400	11,900	12,400	12,950	12,850	13,000		
国府支出金	6,169	3,472	3,156	3,269	3,114	4,250	4,287	4,939	4,232	4,452	6,301		
普通建設事業	5,490	3,068	3,212	3,861	3,291	4,181	2,045	3,286	2,734	3,938	5,915		

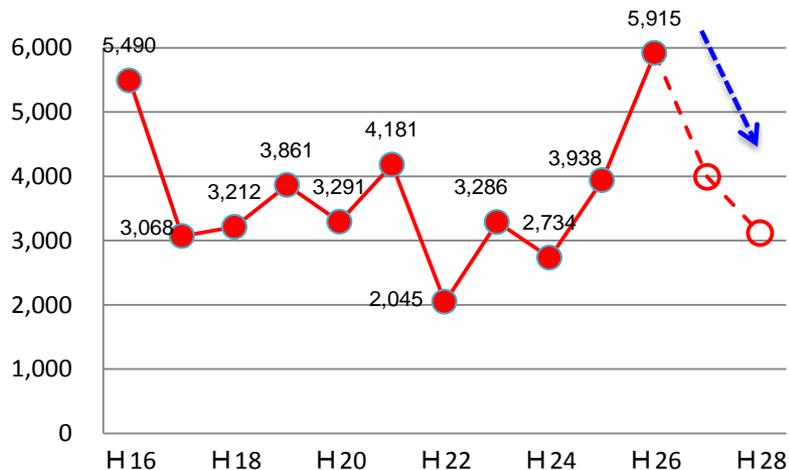
見込み

■建設事業の状況

平成26年度 建設事業見込み（一般会計） **—本市発足後、最大規模—**
59億1,513万円（対25年度：19億7,699万円 50.2%）

平成26年度は、学校耐震化整備、統合保育所整備、火葬場整備、消防救急デジタル無線整備など大型建設事業の実施を予定しており、ピークとして建設事業が集中するが、平成27年度以降は順次平準化。

※主な建設事業の多くは、平成26年度で終了
 平成27年度以降、標準的規模へ



【参考：平成27年度以降の状況】

平成27年度以降は、本庁舎整備、海岸遊歩道整備、かぶと山園地整備、中学校等空調設備整備等の建設事業を予定しているが、上記グラフのとおり平成26年度のような事業規模になる見込みはない

【平成26年度実施の主な建設事業（単位：万円）】

項目	事業費	備考
久美浜庁舎空調更新	1,843	H26年度終了
弥栄統合保育所整備	80,394	H26年度終了
峰山統合保育所通所バス車庫	3,064	H26年度終了
新火葬場整備	84,491	H26年度終了
強い農業づくり対策事業費補助金	17,727	H26年度終了
温泉施設木質ポイラー導入事業	24,074	H26年度終了
消防救急デジタル無線整備	31,920	H26年度終了
消防指令システム等改修	48,310	H26年度終了
中学校耐震化事業	22,511	H26年度終了
網野給食センター空調等整備	7,345	H26年度終了
小学校耐震化事業	35,736	大規模なものはH26年度で終了（27年度で終了）
スマート・IT等住宅改修費補助金	2,000	H27年度終了
かぶと山園地整備	2,290	H28年度終了
内水処理対策	34,274	
橋梁長寿命化	3,700	
私立保育所施設整備事業費補助金	5,080	
普通財産建物解体等	3,341	

■市税の状況

平成26年度 市税総額 **49億2,413万円** (対25年度：48億8,574万円)
 対前年度 **3,839万円** **0.8%増**

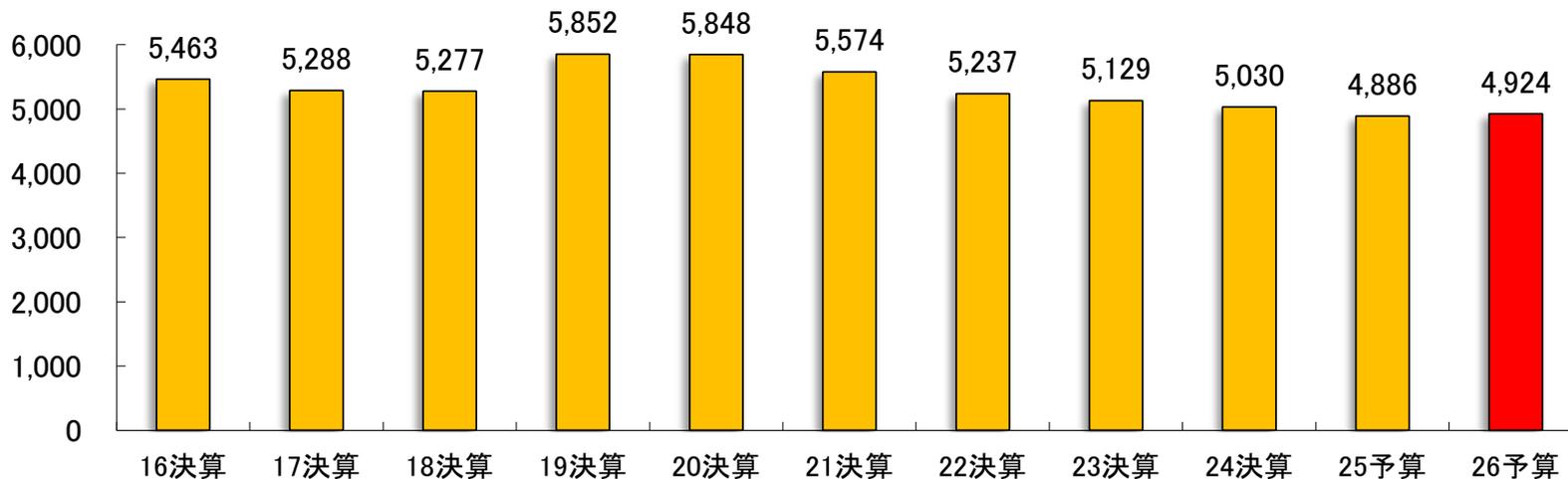
(主な内訳)

※依然厳しい状況ではあるが法人市民税が復元傾向にあり増収の見込み

・個人市民税	18億2,164万円	(H25 18億1,919万円)	対前年度	245万円
・法人市民税	2億2,802万円	(H25 1億8,187万円)	対前年度	4,615万円
・固定資産税	23億1,068万円	(H25 23億2,833万円)	対前年度	△1,765万円
・市たばこ税	3億6,000万円	(H25 3億6,000万円)	対前年度	0万円

【市税の推移】

(単位:百万円)



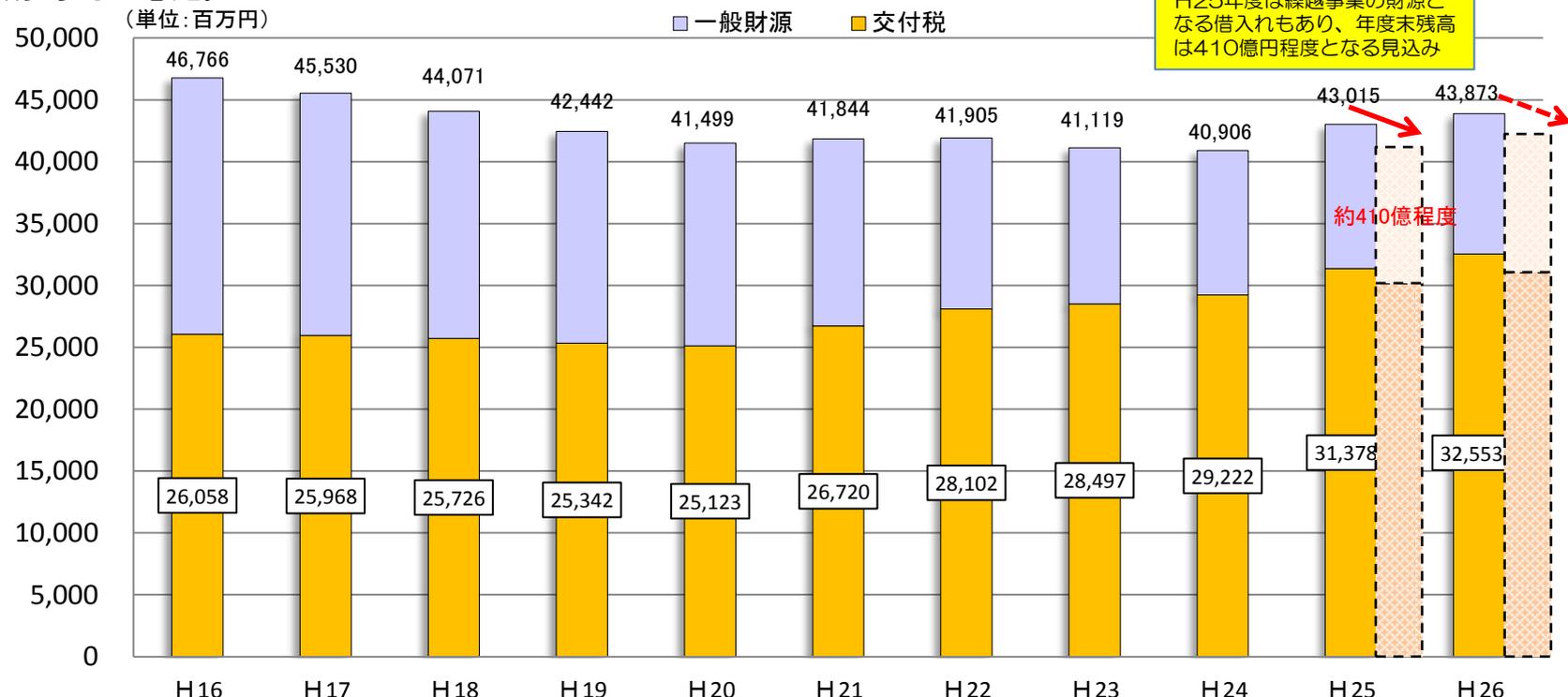
※19年度から、国の三位一体の改革により所得税から個人住民税への税源移譲が実施されたため、18年度以前とは単純に比較できない

市債の状況

平成26年度末市債現在高見込み（一般会計）

438億7,346万円（対25年度末見込：8億5,895万円 2.0%）

平成25年度は、3月期では430億円となっているが、繰越などもあり決算期には410億円程度になる見込み。平成26年度においても大型建設事業の実施に伴い、当初予算時に一時的に増大するが、例年の当初予算の通例により決算時には一定減少すると想定。



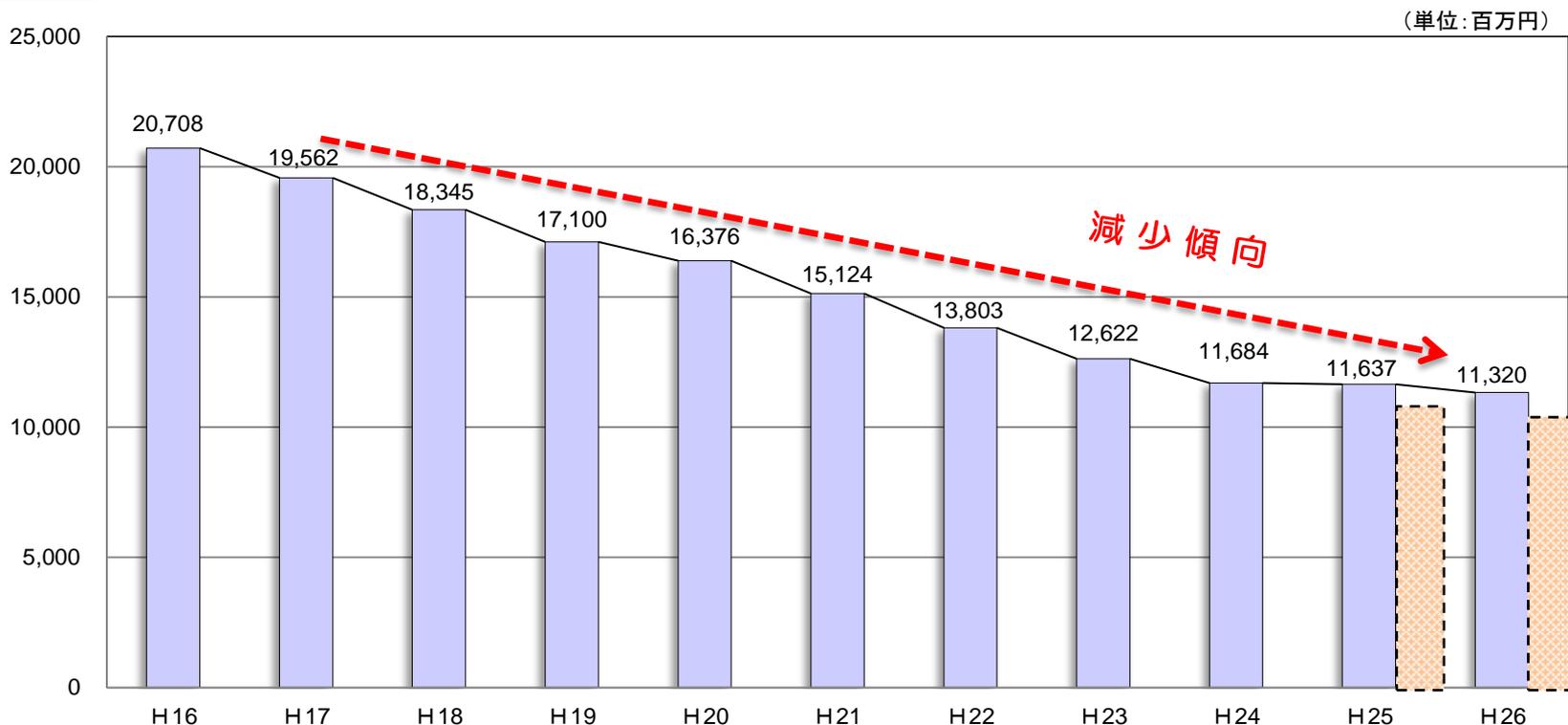
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
交付税	26,058	25,968	25,726	25,342	25,123	26,720	28,102	28,497	29,222	31,378	32,553
一般財源	20,708	19,562	18,345	17,100	16,376	15,124	13,803	12,622	11,684	11,637	11,320
合計	46,766	45,530	44,071	42,442	41,499	41,844	41,905	41,119	40,906	43,015	43,873

※平成24年度までは決算数値、平成25年度は3月期予算数値

■市債の状況（実質負担分）

交付税措置される有利な起債の積極的な活用
⇒市債に係る市の実質負担は合併以来、年々減少

合併特例債などの交付税措置がある有利な起債の借り入れに努め、市の負担分を軽減、実質的負担は年々減少し、合併時から約半減。



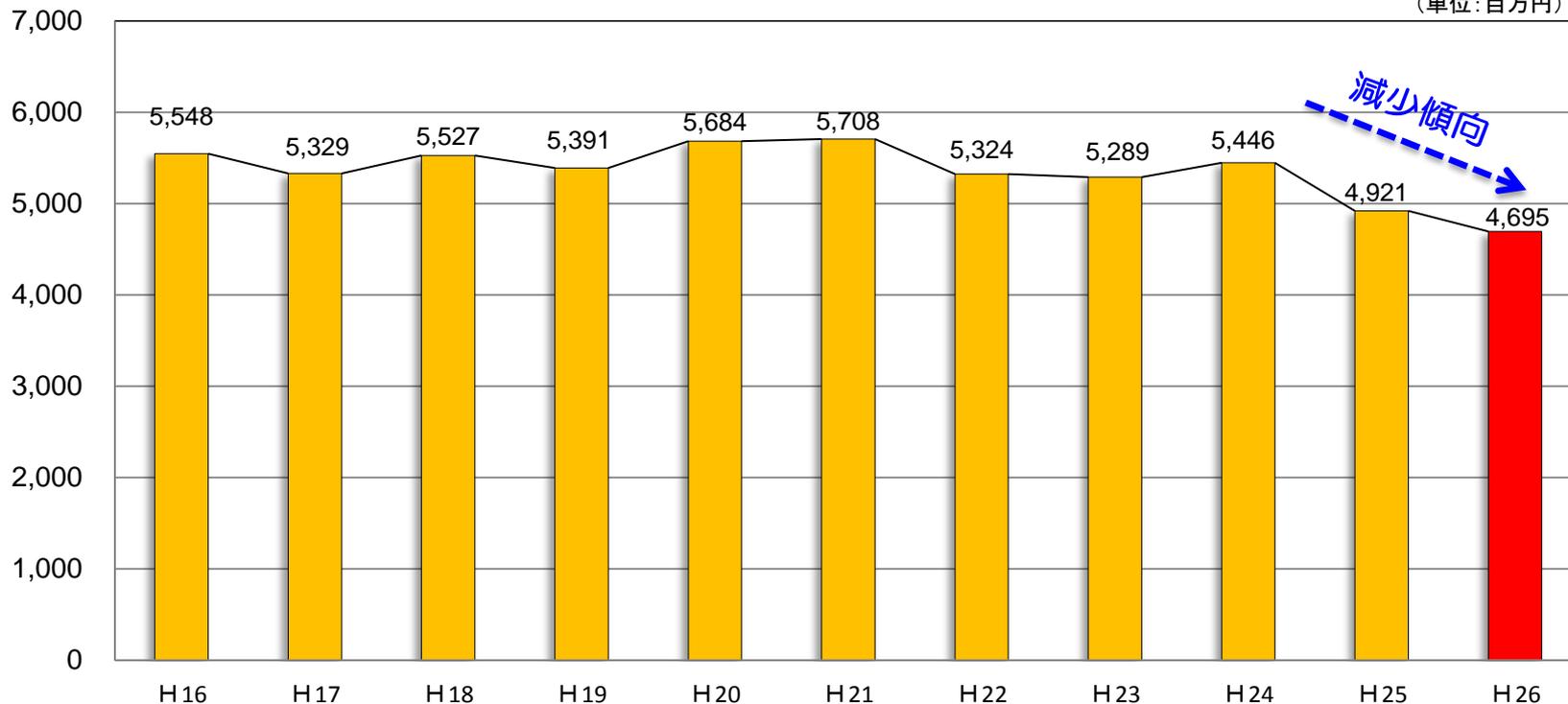
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
実質負担分	20,708	19,562	18,345	17,100	16,376	15,124	13,803	12,622	11,684	11,637	11,320

■公債費の状況

旧町時の長期起債の終了及び低利融資資金の活用
⇒市の起債返済に係る公債費は中期的に漸次減少

公債費については、合併前の借入分の終了や、低利の起債への借り換え等により、公債費抑制しているとともに、今後は主要事業のピークを終え、中期的に漸次減少。

(単位:百万円)



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
公債費	5,548	5,329	5,527	5,391	5,684	5,708	5,324	5,289	5,446	4,921	4,695

■基金の状況

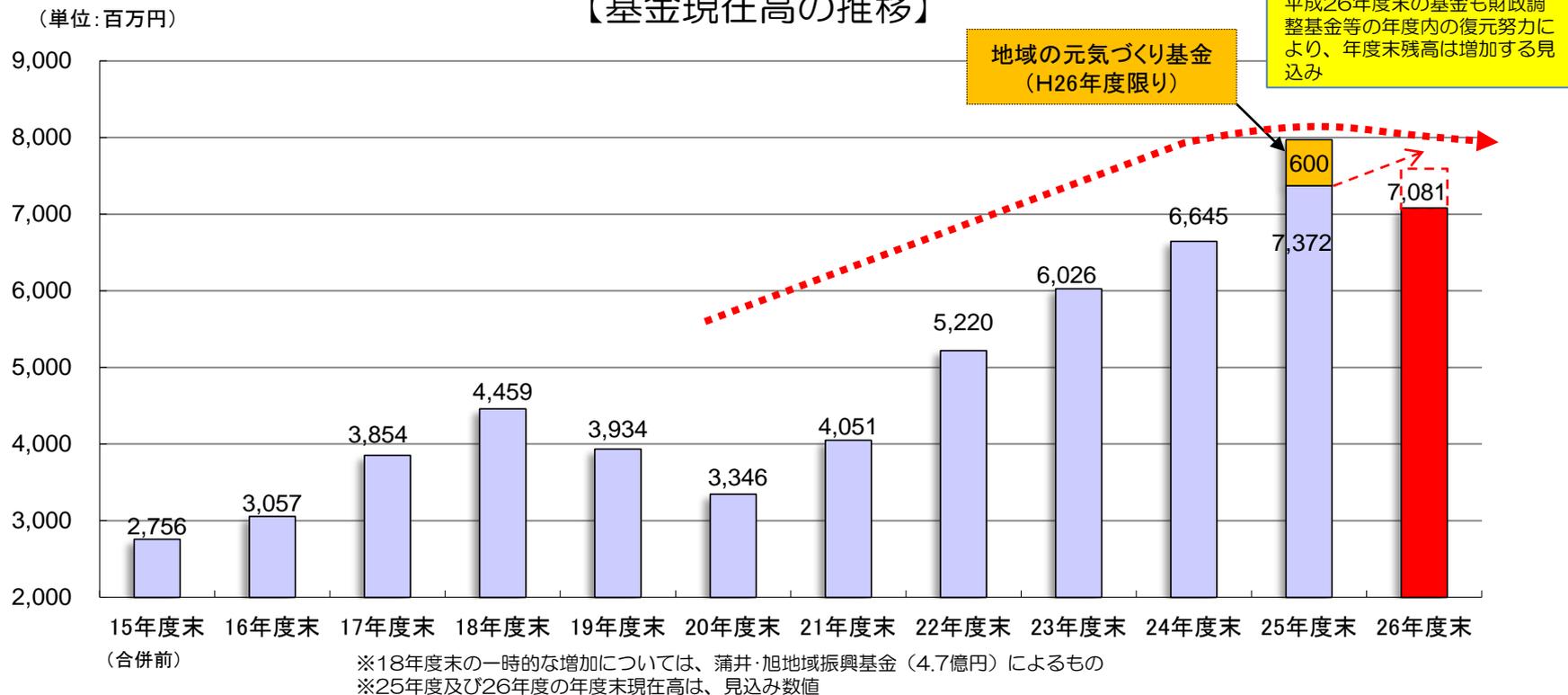
平成26年度末基金現在高見込み（一般会計）

70億8,069万円（対25年度末：△2億9,142万円 △4.0%）

※地域の元気づくり基金（6億円）は除く

平成25年度は、国の地域元気臨時交付金等を活用した「地域の元気づくり基金」（6億円）を創設したことから、一時的に増加となっているが、それを除いても、順調に決算時は基金現在高は増加。

【基金現在高の推移】



■ 財政調整基金の状況

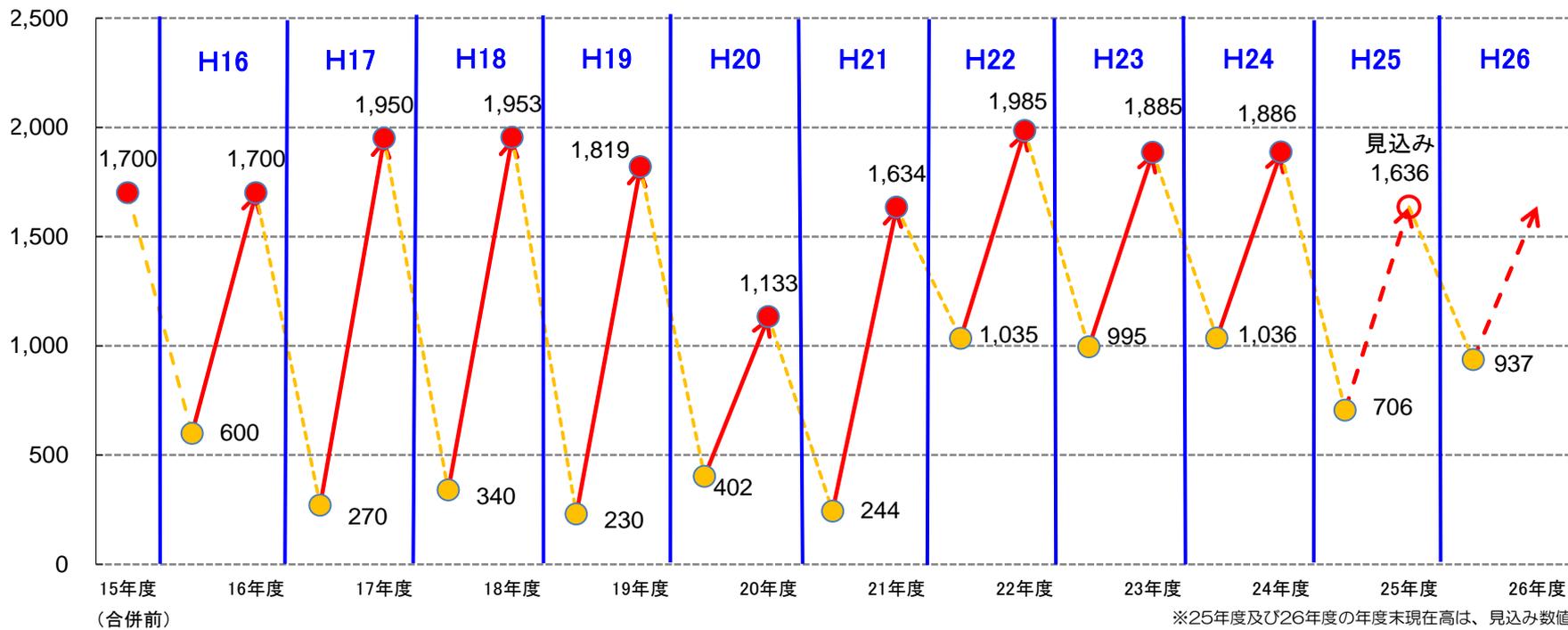
平成26年度末 財政調整基金現在高見込み（一般会計）

9億3,660万円（対25年度末：△6億9,959万円 △42.8%）

平成26年度の財政調整基金の年度末現在残高見込みは9.3億円としているが、毎年度、当初予算編成時の年度末基金残高数値は、一時的に減少した見込み数値となっており、年度内の復元努力により、年度末の残高を確保。

（単位：百万円） ● 当初 ● 決算

【財政調整基金の推移】



	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
当初繰入	-	1,100	950	1,230	760	950	640	100	740	550	650	700
当初残高	-	600	270	340	230	402	244	1,035	995	1,036	706	937
決算残高	1,700	1,700	1,950	1,953	1,819	1,133	1,634	1,985	1,885	1,886	1,636	-

産業の発展と雇用の促進

商工業総合振興条例の「新経済戦略」

小項目 計 2億 1,618万円

地域が行う「移住促進・空き家改修」への支援

840万円 (P.54)

人口の減少及び空き家の増加が進む中、京都府の「明日のむら人移住促進事業」を活用し、地域の団体等が行う移住者の受入組織づくりや、空き家改修等を支援することで、地域での移住者の受入体制整備及び空き家の活用を図る
H25補正予算からの継続

拡充

「京丹後市夢まちづくり大学」の創設・推進

1,640万円 (P.56)

地域課題を地域連携のノウハウのある大学と連携して「京丹後市夢まちづくり大学」として創設し、地域との協働により、大学生の地域活動の活性化と持続可能な地域づくりのシステムの構築を通じた地域振興を図る

新規

地域課題をビジネス解決「コミュニティビジネス応援補助金」

1,000万円 (P.57)

さまざまな地域課題に対し、ビジネスの手法を用いて解決を図り、また、その効果が地域に還元される取り組みを新たに取
り組む地域活動団体等を応援するため、補助金制度を創設
補助率：3分の2（上限200万円）

新規

太陽光発電「公共施設屋根貸事業」利用可能性調の検証・調査

50万円 (P.153)

市有施設活用型太陽光発電普及促進事業（公共施設屋根貸事業）の実施にあわせ、再生可能エネルギーの導入促進にあたり、対象施設の構造、耐震及び耐久性、設置シミュレーション、条件整地等の利用可能性について検証・調査を行う

産業の発展と雇用の促進

新規

地域等の再生可能エネルギーによる利活用まちづくり支援

60万円 (P.153)

地域等の再生可能エネルギー事業の推進を支援するため、公募により対象地域を選定し、再生可能エネルギーの賦存状況、事業化へ向けた課題など地域等のニーズに即した利活用方策を調査・検討する

新規

太陽光発電・省エネ設備等の再生可能エネルギー導入促進支援補助金

560万円 (P.153)

市域への再生可能エネルギーの導入を促進するため、太陽光発電設備、薪等ストーブ、蓄電池、省エネ設備等の導入経費の一部について補助金を交付する

中小企業緊急雇用安定助成金

420万円 (P.167)

国の助成金制度とあわせ市独自の助成金を交付することにより、解雇の予防と雇用の安定化を図ると同時に、休業機会を捉えた人材育成を推進する

拡充

U・Iターン者の就職促進支援制度の創設と有能人材確保対策

237万円 (P.168)

地元事業所が参加する就職面接会を開催し、地元就職促進と地域雇用の活性化を図るとともに、市内企業が有能人材を確保するために行う活動への支援を行う制度(2制度)を創設し、U・Iターンの促進と本市企業の成長を支援する

新規

「京都そば」(仮称)ブランド化への研究

57万円 (P.172)

そばの栽培による地域産物の育成及び耕作放棄地解消を図り、都市部で「京都そば」(仮称)としてブランド産地化することを目指し、高付加価値化を図るため実証研究・先進地視察等に着手する

産業の発展と雇用の促進

新規

農家・漁家民泊の振興と開業（起業）セミナーの開催

75万円 (P.178)

豊かな自然や地域の農林水産物を活用したグリーンツーリズム・ブルーツーリズムを推進するため、農家民宿等を活用した体験ツアーなどを実施するとともに、市内の農家民宿等許可軒数の拡大を目指した開業セミナーを実施する

新規

松本重太郎シンポジウム（仮称）を契機とした
経済連携ネットワーク化の推進

652万円 (P.220)

松本重太郎翁の偉大な功績、起業精神、経営哲学等を広く都市部で発信し、本市のPR及びイメージ向上を図るとともに、本市と関西圏との経済人材等との連携ネットワーク構築・強化を図る「松本重太郎シンポジウム（仮称）」を開催する
平成26年秋(予定)

「地域ブランド連絡協議会」参画による首都圏での魅力発信

99万円 (P.210)

「地域ブランド連携協議会」活動への参画等により、地域ブランドのプロモーションイベント開催（TIC TOKYO等）や物産展への出展、情報発信等を行い、京丹後市ブランドの価値とイメージの向上を図る
協議会には20自治体が加盟

新規

フェイスブックを活用したブランドビジネス育成・発信

325万円 (P.211)

出店者負担が少ない通販サイトを活用して、市内事業者の販路開拓を支援するとともに、京丹後産品や観光サービス商品などの情報発信と販売を通して、京丹後市のPR、ブランド育成及び観光誘客を図る
18自治体が参加

あんしん借換資金等利子補給

6,200万円 (P.211)

市内商工業者が事業運営に必要な運転資金や設備資金を借り入れ、その返済にあたり負担した利子を対象者に補給を行うことにより、資金調達の円滑化と借入負担の軽減を図り、経営安定化と成長を促進する
補給後末端金利：1.7%

産業の発展と雇用の促進

拡充

投資需要を喚起する信用保証料への補助金

4,500万円 (P.212)

市内中小企業者が事業資金の借りにあたり負担した信用保証料を対象に補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入負担軽減を図り、経営安定化と成長を促進する
特例補助率の一部を変更し、中規模の投資需要に対する支援を拡充

拡充

京丹後市商工会の「プレミアム商品券発行事業」支援

48万円 (P.212)

京都府介護保険返戻地域活性化事業の返戻対象者へ交付するとともに、市内における消費拡大を図るために京丹後市商工会が販売する商品券事業のプレミアム分の一部を支援する
商品券発行総額：1,423万円

拡充

起業・新商品開発等を下支えする商工業支援補助金

1,256万円 (P.212)

起業や空き店舗・空き工場の活用、新商品の開発、販路開拓、知的財産権保護など、市内商工業者の新たな取り組みに対する支援を行い、地域経済の活性化を図る

新規

生産設備をリース導入する場合の補助制度の創設

135万円 (P.212)

市内製造業者が生産設備をリース方式で導入した際のリース料の一部を支援し、設備導入を促進する
補助率：5分の1以内 交付限度額：5万円/月/企業

新規

商工業者の「事業継続計画（BCP）」策定支援

15万円 (P.212)

市内商工業者が行う事業継続計画策定経費の一部を支援し、災害の防止、発生時の事業継続や早期再開を図るための事業継続計画の策定を促進する事業をモデル実施する
補助率：3分の1以内 交付限度額：15万円/企業

産業の発展と雇用の促進

拡充

市内への企業立地への助成制度の創設

1,610万円 (P.213)

立地企業への支援を行い、企業による事業所の新設及び増設を促進して、雇用の創出・拡大をはじめ、市内産業への経済的波及効果を創出するとともに、新経済戦略に基づく新企業立地支援制度を適用し、さらなる投資を促進する
対象：12社

拡充

丹後ファッションウィーク開催委員会補助金

400万円 (P.215)

販路開拓、産官学連携等、丹後織物の新しい魅力の発信による認知度の向上、競争力強化を図るための取組を行う「丹後ファッションウィーク開催委員会」の活動を支援する
2020年をターゲットイヤーとした取組検討にも着手

拡充

「絹のふるさと京丹後推進会議」(仮称)創設など
シルクを活かしたまちづくりの推進

232万円 (P.216)

「シルクのまちづくり市区町村協議会」への参加、シルクPR隊によるシルク産業・文化のPR、「絹のふるさと京丹後推進会議」(仮称)の設置によるまちづくりプランの検討により、シルク産業の振興とシルク文化を活用した地域づくりを推進する

織物合理化設備導入支援事業補助金

400万円 (P.216)

織物業の合理化及び経営安定化を目的として、市内織物事業者が紋織物の生産に必要なダイレクトジャカード新型コントローラー装置を導入する場合、その経費の一部を支援する
制度最終年度

拡充

機械金属業イノベーション・未来開拓挑戦支援事業補助金

317万円 (P.217)

機械金属業が行う新たな販路開拓やビジネスマッチング、新たな事業分野への進出に向けた基盤構築や技術力向上等につながる活動を支援し、機械金属業事業者の経営基盤強化と機械金属業界全体の成長・発展を推進する

産業の発展と雇用の促進

産学連携研究等促進事業費補助金

200万円 (P.218)

市内商工業者等とさまざまな技術シーズを保有する大学等研究機関との共同研究等に対し支援を行うことにより、産学連携を促進し、もって企業の事業成長及び新分野への進出並びに新産業の創出を図る
補助率：2分の1以内(上限100万円)

「京丹後市新経済戦略推進会議」での施策の推進管理等

51万円 (P.220)

市商工業総合振興条例に基づき、同条例及び新経済戦略に基づく施策の推進、評価、見直し等に関して調査審議を行うための会議組織「京丹後市新経済戦略推進会議」を運営する
委員17人、オブザーバー3人

「京丹後経済成長戦略新懇話会」での成長戦略の研究

200万円 (P.220)

北近畿新時代の到来を迎える中、市商工業総合振興条例、新経済戦略を踏まえ、関係者がそれぞれの役割や取組のあり方等を考え、行動する機会とするため「京丹後経済成長戦略新懇話会」を開催する
8回程度を予定

新規

京丹後型「ワークスタイル」(テレワーク)実現化検討

39万円 (P.221)

本市の豊かな自然環境と充足した通信インフラ環境等を活用した「テレワーク」を推進し新たな事業活動の展開を図っていくため、その導入として、市内事業者、創業希望者等を対象としたテレワークに関するセミナーを開催する

産業の発展と雇用の促進

その他産業発展のための主な施策

小項目 計 2億4,795万円

地域雇用環境整備特別対策事業

8,413万円 (P.167)

地域に根ざした雇用を創出する事業、地域の実情に応じた多様な人材育成と就業支援を推進する事業、従業員の処遇向上を推進する事業を実施し、企業成長による、失業者・在職者の生活の安定と向上を図る
起業支援型：3事業 地域人づくり事業：5事業

新規

宇治茶産地確立支援事業補助金

112万円 (P.173)

宇治茶産地として安定した生産量を確保するため、樹勢回復を図る施肥設計の変更による実証事業の経費増加分に対し支援を行う
補助率：2分の1

地域課題解消のための 里の人づくり事業補助金

750万円 (P.179)

過疎・高齢化の進んだ農村地域と里力再生推進委員や住民団体が構成して地域課題解消のため「地域連携組織」が一体となって取り組む再生計画づくりや活動を支援する
5地域（1地域：3か年）

新規

太陽光消毒用マルチ活用推進のための 加工野菜等振興事業補助金

58万円 (P.179)

国営農地で「液肥＋緑肥＋太陽熱消毒用マルチ」による減農薬・減化学肥料生産体系の実証を行うため、太陽熱消毒用マルチ購入費用の一部を支援する
補助率：2分の1、平成27年度までの2年間

産業の発展と雇用の促進

新規	売れる米づくりを推進する 京丹後米ブランド化推進事業補助金	525万円	(P.187)
売れる米づくりを推進するため、JA、流通業者、生産者等で特別栽培米のブランド化に向けた協議会を設置するとともに、特別栽培米の品質向上、省力化を目的に、団地化の促進、規模拡大の取り組みを支援する			
	日本一の特A米産地づくり推進事業補助金	100万円	(P.187)
コシヒカリの特A産地として良食味米の安定生産を推進するため、先進的な取り組みに対して支援を行う 補助率：3分の2以内、平成24～28年度までの5年間			
新規	弥栄町野間地域の農産物等の加工品づくり支援 (里の地域活力再生事業補助金)	672万円	(P.194)
弥栄町野間地域が策定した「里力再生計画」に基づき、野間地域が主体となった農産物等の加工品づくりを行う製造施設の整備に対し支援を行う 総事業費720万円			
新規	農業競争力強化基盤整備事業負担金(ほ場の大区画化等)	1,033万円	(P.196)
久美浜町女布地区のほ場の大区画化と揚水機、用水路等の改修を実施し、営農労力の節減を図り、収益性の高い農業経営の実現を図る 期間：平成26年度～平成31年度 総事業費7.4億円程度			
新規	丹後町宇川地区のほ場の大区画化等へ向けた調査設計	2,003万円	(P.198)
丹後町上宇川地区のほ場の大区画化と農道、用水路等の改修により耕作放棄地の防止と営農労力の節減を図り、収益の高い農業経営を目指すため、平成28年度事業採択に向け、調査設計を行う ほ場整備面積：50ha			

産業の発展と雇用の促進

新規	宇川地区の農業用水路改修	7,796万円	(P.198)
-----------	---------------------	----------------	----------------

丹後町宇川地域の尾和用水路は、設置後約50年が経過し老朽化が著しいため、測量設計等を実施し、次年度以降、用水路及び取水施設改修を行い、農地の保全を図る
期間：平成26年度～平成31年度 総事業費3.4億円程度

拡充	本市観光振興の中核団体「京丹後市観光協会」の運営支援	3,333万円	(P.224)
-----------	-----------------------------------	----------------	----------------

京丹後市の観光推進体制を強化することを目的に、観光振興のエンジンである京丹後市観光協会の活動支援を行う
平成26年度からは法人格を持った団体として旅行業を取得

項目合計 4億6,413万円

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

「海の京都」推進に向けた事業の充実

小項目 計 6,118万円

新規

「海の京都周遊バス」利便向上事業費補助金

12万円 (P.71)

丹後半島を周遊する幹線バス路線の車両について、外部をラッピングするなど分かりやすく魅力的な内外装へ改修する経費を2市2町で協調して支援する 総経費700万円

拡充

「海業推進事業計画」の策定など、海業推進の加速化

139万円 (P.206)

漁業者の所得の向上や漁村地域の活性化を図るため、6次産業化・漁商観連携、地産地消の推進、地元水産物の普及拡大と京都府との連携による後継者対策等の施策を推進するとともに、新たに「海業推進事業計画」を策定する

新規

「海フェスタ京都実行委員会」への負担金

100万円 (P.231)

「海フェスタ」を府北部地域で開催することにより「海の京都」を全国に発信するとともに、質の高い観光を提供し、府北部5市2町のさらなる活性化を目的とする海フェスタ京都実行委員会への負担金を支出する（平成26年度のみ）

新規

網野町浜詰地区への「夕日広場（仮称）」基本計画の策定

432万円 (P.231)

「海の京都」京丹後市マスタープランに掲げた「夕日広場」（仮称）の整備に向け、基本計画を策定する

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

新規	「海の京都」京丹後市実践会議の事業推進支援制度の創設	200万円 (P.231)
-----------	-----------------------------------	----------------------

「海の京都」京丹後市実践会議が、「海の京都」京丹後市マスタープランに掲げた事業を推進するための活動経費等を支援する

	「山陰海岸ジオパーク」の活用・保全推進	2,099万円 (P.232)
--	----------------------------	------------------------

「山陰海岸ジオパーク」を、市内外へ啓発、発信するため、イベント・講座等の開催、教育・学習活動支援、拠点・サイン整備を推進するとともに、世界再審査及び平成27年に開催されるAPGN大会に向け、さらなるジオパーク活動の充実を図る

拡充	8kmロングビーチの海岸遊歩道整備着手	567万円 (P.232)
-----------	----------------------------	----------------------

京丹後市の美しい砂浜海岸を保全するとともに、年中にぎわう浜辺づくりを推進するため、小天橋海岸から浜詰海岸へ遊歩道を整備し交流人口の増加とともに地域の活性化を図る

新規	ビーチマラソン大会等実施による にぎわう日本一の浜辺づくり支援	279万円 (P.232)
-----------	--	----------------------

年中にぎわう日本一の浜辺づくりにを推進するため、ビーチマラソン大会等の開催を支援することにより、交流人口の増加とともに地域の活性化を図る
ビーチマラソン大会：平成26年6月に実施予定

拡充	美しい久美浜湾を眺望できる かぶと山園地の本格整備着手	2,290万円 (P.233)
-----------	------------------------------------	------------------------

かぶと山展望台の更新に伴い、山頂へ遊歩道やトイレ、駐車場等の休憩施設等の整備を行うことにより、新たな誘客につながるるとともに地域の活性化を推進する
主な整備予定：遊歩道850m 駐車場：バス5台、普通車20台

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

観光振興計画に基づく経済再生への積極支援

小項目 計 2,325万円

新規 観光スポット等への「Wi-Fi」利用環境の提供

116万円 (P.60)

地域公共ネットワークに接続している駅、道の駅、温泉施設などの公共施設20か所に、スマートフォンやタブレット端末等からインターネットへの接続が可能な無料のWi-Fiスポットを開設し、施設利用者及び観光客等の利便性向上を図る

新規 鉄道利用の観光客の玄関となる 駅トイレ抜本改修の実施設計

554万円 (P.72)

京丹後市の玄関口となるKTR駅舎のトイレを、利用者が清潔に利用しやすくする改修工事の実施設計を行う
改修対象駅：峰山駅、網野駅、木津温泉駅

新規 楽しみながらの「スポーツGOMIひろい大会」

40万円 (P.151)

企業や団体に取り組む従来型のごみ拾いに、「スポーツ」の要素を加えた大会を海岸漂着物発生抑制の意識啓発イベントとして開催する（夏季に100人規模想定）

新規 大宮森本 I.C 開通に伴う 観光・休憩所の適地調査の実施

320万円 (P.227)

京都縦貫自動車道や舞鶴若狭道の全線開通、また大宮町森本へのI.Cの開通に伴い見込まれる観光客や流入車両の増加に対応した施設の適地調査を行う

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

JAF全日本ラリー選手権第6戦 丹後半島ラリー2014の開催

118万円 (P.228)

全日本ラリー選手権ならではの迫力あるモータースポーツの大会の開催を支援することにより、全国へ本市をPRするとともに、観光客誘致を図る
H26.8.29(金)～31(日)予定

京たんごスポーツ(丹スポ)の発行

589万円 (P.230)

スポーツに親しむ気運の醸成をはじめ、指導者やジュニア選手の育成等につなげるとともに、スポーツの分野における新たな観光・交流人口の拡大を推進するため、広報紙を発行し、スポーツを活用した総合的なまちづくりに資する
隔月発行

歴史街道丹後100kmウルトラマラソン(国際親善プレ大会)

500万円 (P.231)

歴史街道丹後100kmウルトラマラソン(国際親善プレ大会)の開催を支援し、四季型・滞在型観光を推進する
H26.9.13(土)～14(日)予定

新規

市民総参加を目指した「スポーツボランティア登録制度」の創設

88万円 (P.231)

スポーツボランティアを登録する仕組みをつくり、ボランティアを対象とした研修を行うことにより、市民全体でスポーツを支える担い手づくりを進める

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

環境にやさしい地域づくりの推進

小項目 計 2億6,503万円

拡充

生ごみ全量資源化への拡大・加速化（ゼロエミッション推進）

1,730万円 (P.152)

市内の生ごみ資源化や食品リサイクル液肥の利用促進による循環型社会の構築へ向け、生ごみ分別世帯の増加を目指し、一部堆肥化を行う
目標：500世帯以上

新規

太陽光発電「公共施設屋根貸事業」利用可能性調の検証・調査

【再掲】

50万円 (P.153)

市有施設活用型太陽光発電普及促進事業（公共施設屋根貸事業）の実施にあわせ、再生可能エネルギーの導入促進にあたり、対象施設の構造、耐震及び耐久性、設置シミュレーション、条件整地等の利用可能性について検証・調査を行う

新規

地域等の再生可能エネルギーによる利活用まちづくり支援

【再掲】

60万円 (P.153)

地域等の再生可能エネルギー事業の推進を支援するため、公募により対象地域を選定し、再生可能エネルギーの賦存状況、事業化へ向けた課題など地域等のニーズに即した利活用方を調査・検討する

新規

太陽光発電・省エネ設備等の再生可能エネルギー導入促進支援補助金

【再掲】

560万円 (P.153)

市域への再生可能エネルギーの導入を促進するため、太陽光発電設備、薪等ストーブ、蓄電池、省エネ設備等の導入経費の一部について補助金を交付する

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

新規 地域バイオマス「下水汚泥等」の資源化検討・調査

29万円 (P.154)

更なる資源循環を目指し、地域バイオマス資源のひとつである「下水汚泥」を有効活用するため、燃料化等に関する具体的な調査・検討を行う

新規 あしぎぬ温泉・よし野の里への木材チップボイラー導入

2億4,074万円 (P.236)

木材利用・加工施設の稼働にあわせ、積極的な市内産木材の利用を図り、市内森林整備を促進するため、公共温泉施設である「弥栄あしぎぬ温泉」「宇川温泉よし野の里」に木質ボイラーを導入する

市制10周年記念事業を契機としたまちの活性化

小項目 計 4,004万円

新規 市制10周年の歩みも掲載する「市勢要覧」の作成

1,059万円 (P.45)

市制10周年を迎えるにあたり、本市の特色等をまとめた「市勢要覧」を作成
(市勢要覧、市勢要覧資料編、市制10年の歩みの3部構成) 発行予定：平成26年11月、25,800部

新規 地域課題をテーマに「全国公共政策フォーラム」を開催

32万円 (P.56)

本市を会場に約20チーム200人の大学生が地域課題をテーマに政策提案を行う全国大会の開催を日本公共政策学会とともに支援する。
平成26年秋開催予定

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

拡充

花いっぱい運動推進補助金の創設など、
市民とともに取り組む「花いっぱい運動」の本格推進

438万円 (P.57)

本市の豊かな自然環境を活かしたまちづくりを進めるため、市民とともに花いっぱいの運動を推進し、観光振興や地域の活性化等に繋げる
竹野川沿いの国道への植樹、花いっぱい運動推進補助金の創設など

新規

市民全員参加を目指した市制10周年記念実行委員会への補助金

860万円 (P.58)

市制10周年を迎え「北近畿新時代に向けた市民全員参加のまちづくり」をコンセプトに、市民が一体となるまちづくりと本市の魅力を市内外に積極的に発信するための実行委員会への補助金
※(仮称)京丹後「花月」開催、フィールドミュージアム全市展開事業など

新規

市制10周年記念イベント「大相撲京丹後場所」の開催支援

220万円 (P.58)

市制10周年を記念し「大相撲京丹後場所」を開催する実行委員会を支援する
H26.10.19(日) 大宮社会体育館

新規

市制10周年記念式典

188万円 (P.58)

市制10周年を迎え、本市が歩んできた合併後の10年間を振り返るとともに、さらなる飛躍・発展の契機の一つとするため、記念式典を開催する
平成26年11月上旬予定 京都府丹後文化会館

新規

原動機付自転車用 オリジナルナンバープレートの発行

119万円 (P.78)

市制10周年を記念し、原動機付き自転車用のオリジナルナンバープレートを全国公募によりデザインを募集し、最優秀デザインは合併記念式典で発表
数量限定で作製し、選択制とする予定

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

新規 環境首都創造ネットワーク「全国フォーラム」の京丹後市開催 150万円 (P.153)

環境首都創造ネットワークに加盟する自治体首長とNGOメンバー等が力を合わせ、持続可能な地域社会の実現を目指すことを目的とした環境首都創造自治体全国フォーラムを、市制10周年記念の一環として本市で開催する
H26.11.5～6(2日間)

新規 農家・漁家民泊の振興と開業(起業)セミナーの開催 【再掲】 75万円 (P.178)

豊かな自然や地域の農林水産物を活用したグリーンツーリズム・ブルーツーリズムを推進するため、農家民宿等を活用した体験ツアーなどを実施するとともに、市内の農家民宿等許可軒数の拡大を目指した開業セミナーを実施する

新規 松本重太郎シンポジウム(仮称)を契機とした
経済連携ネットワーク化の推進 【再掲】 652万円 (P.220)

松本重太郎翁の偉大な功績、起業精神、経営哲学等を広く都市部で発信し、本市のPR及びイメージ向上を図るとともに、本市と関西圏との経済人材等との連携ネットワーク構築・強化を図る「松本重太郎シンポジウム(仮称)」を開催する
平成26年秋(予定)

拡充 「京丹後まるごとシアター(仮称)」などフィルムウィークの開催 99万円 (P.228)

映像に親しむ機運の醸造と周遊型観光を推進するため、京都国際学生映画祭等と連携し、お寺や古民家等の田舎にしかないロケーションで期間限定の「京丹後まるごとシアター(仮称)」や映像制作に関するワークショップ等を開催する

新規 丹後古代の里資料館 秋季特別展示「丹後VS但馬」の開催 112万円 (P.298)

市制10周年記念事業の一環として、丹後古代の里資料館において秋季特別展「丹後VS但馬」を開催して丹後の歴史を考える

京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

丹後文化の情報発信を促進

小項目 計 1,656万円

「文化の仕掛人」(アートコーディネーター)の配置

200万円 (P.291)

丹後文化会館を文化振興の拠点として、丹後地域の資源を活用した文化・芸術活動の掘り起こしを行う「文化の仕掛人」(アートコーディネーター)を京都府とともに配置し、地域住民と一緒に文化力による地域の活性化とまちづくりを進める

新規

平成27年秋開催 (仮称)「大丹後展」の開催準備

212万円 (P.301)

京都縦貫道全線開通にあわせ、丹後の歴史・文化を広く周知するため(仮称)「大丹後展」開催に向けた準備に着手する
予定：平成27年11月～12月 京都文化博物館(京都市中京区)

新規

丹後と名古屋(東海地方)の方言等文化のルーツ調査

41万円 (P.301)

本年、来年に迎える名古屋圏との交通アクセスの大幅改善を控え、丹後と名古屋を中心とした東海地方の方言等が類似していることから、丹後と東海地方の文化・方言・交流等について、そのルーツを調査するとともに報告書にまとめ刊行する

京丹後市史の編さん(編さんの完結)

1,203万円 (P.303)

京丹後市史編さん事業の最終年となる本年度は、本文編「京丹後市の自然環境」(1,000冊)、資料編『京丹後市の古地図』(600冊)、資料編『京丹後市のまちなみ・建築』(600冊)を刊行する

項目合計 4億 606万円

未来へのまちづくりの振興

子育て・教育のまちづくりの推進

小項目 計 13億4,945万円

中学校卒業まで 子ども医療の給付

1億8,011万円 (P.116)

乳幼児・小学生・中学生の健康の保持増進と子育ての経済的負担の軽減を図るため、医療費の一部を現物給付の方法により支給する

自己負担：1医療機関ごとに200円/月

「子ども・子育て支援事業計画」策定

184万円 (P.122)

子ども・子育てに関するアンケート調査からニーズ量を把握・分析し、平成27年度から5年間を一期とする「京丹後市子ども・子育て支援事業計画」を策定する
平成25年度補正予算でアンケート実施

新規

本市初の私立保育所への保育事業補助金

3,604万円 (P.126)

延長保育、休日保育等特別保育事業促進のため、民間保育所が行う事業の円滑な運営実施のための体制づくり等に対し、補助金を交付する
平成26年4月から峰山及び網野保育所は私立保育所（これまでの私立保育所は乳児専門保育所）

新規

私立保育所の保育環境充実支援

5,080万円 (P.126)

平成26年4月から社会福祉法人が経営する峰山保育所及び網野保育所施設の改修経費について、京都府の補助制度も活用しながら、補助金を交付し支援する

未来へのまちづくりの振興

拡充

(仮称) 峰山統合保育所・幼稚園開設準備・通園バス車庫整備

7,629万円 (P.128)

子育て支援センターも併設する(仮称) 峰山統合保育所・幼稚園の開設に向け保育備品を整備するとともに、通所バス車庫を峰山町長岡地内に整備する
平成27年3月中の開所を目指す

拡充

(仮称) 弥栄統合保育所・幼稚園の施設建設

8億2,905万円 (P.129)

子育て支援センターを併設する(仮称) 弥栄統合保育所・幼稚園を建築整備するとともに、開設に向け保育備品を整備する
平成27年4月開所予定

(仮称) 久美浜統合保育所・幼稚園の開設準備

3,204万円 (P.129)

子育て支援センターも併設する(仮称) 久美浜統合保育所・幼稚園の開設に向け保育備品を整備する
平成27年2月中の開所を目指す

新規

「食育推進基本方針」の具現化

76万円 (P.133)

平成25年度に策定した「食育推進基本方針」に基づき、普及啓発、関係団体などのネットワーク会議等を行い、本市の食育を推進する
高校生料理教室、CATV料理番組、長寿食子ども向けレシピほか

教育支援センター「麦わら」での生徒支援

891万円 (P.266)

心理的要因等により不登校となっている、またはその傾向にある児童生徒に対し、在籍校と連携し、基本的な生活習慣の改善、社会性・協調性の習得、基礎学力の補充を、個々に応じて段階的に支援することにより、学校生活への復帰と社会的自立を支援する

未来へのまちづくりの振興

拡充

「小中一貫教育推進基本計画」作成など小中一貫教育の推進

191万円 (P.266)

学校教育改革構想に基づき、指導の一貫性を目指した教育の実現に向け、協議会、専門部会で調査研究し、「小中一貫教育推進基本計画」等を作成するほか、4中学校区を導入準備校に指定し、平成28年度を目途に全中学校区で小中一貫教育を実施する

新規

本市初の峰山・網野中学校区での
施設分離型小中一貫教育の本格実施

209万円 (P.266)

峰山中学校区、網野中学校区における小中一貫教育の2年間の実践研究を踏まえ、平成26年度から両校区を施設分離型の小中一貫教育校として、就学前から中学校卒業までの10年間を見据えた系統的かつ一貫性のある教育活動を実践する

地域で学校を支える「学校支援ボランティア」制度の継続実施

515万円 (P.267)

「教育と学びのまち京丹後」を実現するため、さまざまな特技や技能をもった地域の方に、学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の求めに応じて、学習支援やクラブ活動支援などを行う
ボランティア登録数425人（H26年1月末）

拡充

「教育と学びのまち 京丹後」実現へ向けた学習支援体制の推進

249万円 (P.267)

「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、学習支援ボランティアなどの市民力を生かすとともに、放課後・土曜日を活用した教育活動や情報メディアを使った学習支援など、学びを支援する機会や仕組みづくりを構築するための実証を行う

本市教育振興の方針となる「京丹後市教育振興計画」の策定

192万円 (P.268)

京丹後市教育振興のための方針・施策に関する基本的な計画である「京丹後市教育振興計画」を策定する（平成25年度からの継続） 計画書400部、概要版23,000部

未来へのまちづくりの振興

拡充

図書館支援業務を加えた小学校スクールサポーター

6,164万円 (P.276)

児童一人ひとりの課題や特性を把握し、より細かな指導により円滑な授業を行うとともに、学校再配置への対応や学校図書館の機能を高めるため、スクールサポーター（介護、講師、心の教室相談員、図書館支援加配）を効果的に配置する

拡充

図書館支援業務を加えた中学校スクールサポーター

3,391万円 (P.284)

生徒一人ひとりの課題や特性を把握し、より細かな指導により円滑な授業を行うとともに、学校再配置・小中一貫教育への対応や学校図書館の機能を高めるため、スクールサポーター（介護、講師、心の教室相談員、図書館支援加配）を効果的に配置する

預かり保育も担う幼稚園スクールサポーター

2,426万円 (P.285)

障害等により特別な支援を要する園児の障害に応じた指導を計画的・継続的に実施するため、必要と認められる幼稚園に介護職員を配置するとともに、預かり保育実施のための職員を配置するなど、円滑な幼稚園運営を行う

新規

生まれて初めて本に触れる「ブックスタート」事業の実施

24万円 (P.297)

4か月健診時に「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動を進めることにより、赤ちゃん保護者が絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届けるとともに、生まれた環境にかかわらず絵本に触れる機会をつくる

未来へのまちづくりの振興

生涯を現役で過ごせるまちづくりの推進

小項目 計 1,451万円

高齢者の生きがいがづくり 老人クラブの活性化支援

929万円 (P.109)

老人クラブの活動に対して助成を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいがづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する
109クラブ、会員：2,785人（H25.4.1現在）

拡充

健康大長寿のさとづくりフォーラム・生涯現役サミットの同時開催

256万円 (P.134)

百歳福寿の多い本市の特長を活かし、社会参加や生涯学習、自分のペースでの仕事など、誰もが何かを生涯にわたって生き生きと取り組む「生涯現役社会」の実現を目指したフォーラム及びサミットを開催する
平成26年11月上旬予定

新規

全国の実践事例を集めた「百寿者の長寿秘けつ集」発行

100万円 (P.134)

「生涯現役」や「健康長寿」をテーマに全国から実践者の事例等を募り、優秀事例等をフォーラム等で発表、表彰するとともに、「百寿者の長寿の秘けつ集」として発行する
4,000部作成（書店でも販売予定）

新規

健康“楽歩里”の事業化検討・調査

12万円 (P.134)

市民が「歩く健康づくり」に取り組み、社会貢献する喜びを持ち続けることができる「幸せで健康大長寿なまちづくり」の仕組みづくりを検討
楽歩里(がっぼり)=里を楽しんで歩く、頑張っポイントをがっぼり貯めるの意

未来へのまちづくりの振興

地域の健康仕掛け人「健康づくり推進員」の活動支援

116万円 (P.135)

「京丹後健康増進計画」に基づき、各地域で健康づくりを進める推進員を育成し、その活動を支援する
(予定：250人、任期：平成26～27年度の2か年)
CATVを活用した運動指導、ウォーキングなども実施

新規

福知山成美大学での「京丹後市高齢者大学院（仮称）」の実施

38万円 (P.290)

市内の概ね60歳以上の方を対象とし、高齢者の学習意欲の向上を目的として、成美大学へ通い大学の講義を受講する
講座：年5回程度予定

未来へつながるまちづくりの推進

小項目 計 2億6,191万円

新規

外国人住民と日本人住民間の「多文化共生推進プラン」の策定

88万円 (P.52)

外国人住民と日本人住民それぞれが共生していくまちづくりを推進するため、住民アンケートによる意識調査結果等を参考にしながら「多文化共生推進プラン」を策定する
住民アンケート：3,200人対象（4か国語）

「京丹後ふるさと応援団」による本市の魅力PR

129万円 (P.53)

市外在住の方が「京丹後ふるさと応援団員」となって本市のPR活動をしていただくため、会報誌の送付、応援大使名刺の提供のほか応援団員交流会を開催し、団員相互の交流と連携を深める
団員数：316人（H25.12末）

未来へのまちづくりの振興

地域が行う「移住促進・空き家改修」への支援

【再掲】

840万円 (P.54)

人口の減少及び空き家の増加が進む中、京都府の「明日のむら人移住促進事業」を活用し、地域の団体等が行う移住者の受入組織づくりや、空き家改修等を支援することで、地域での移住者の受入体制整備及び空き家の活用を図る
H25補正予算からの継続

拡充

「京丹後市夢まちづくり大学」の創設・推進

【再掲】

1,640万円 (P.56)

地域課題を地域連携のノウハウのある大学と連携して「京丹後市夢まちづくり大学」として創設し、地域との協働により、大学生の地域活動の活性化と持続可能な地域づくりのシステムの構築を通じた地域振興を図る

新規

地域課題をビジネス解決「コミュニティビジネス応援補助金」

【再掲】

1,000万円 (P.57)

さまざまな地域課題に対し、ビジネスの手法を用いて解決を図り、また、その効果が地域に還元される取り組みを新たに取
り組む地域活動団体等を応援するため、補助金制度を創設
補助率：3分の2（上限200万円）

今後の本市中核を担う若い世代の「まちづくり青年塾」の開催

8万円 (P.59)

今後のまちづくりを中核を担う若い世代の問題意識、発想力などにより、本市の将来ビジョンや施策などを互いに語り合い、
育むことで、可能性あふれる京丹後の未来を切り拓くことを目的とした「まちづくり青年塾」を開催する
H25年度はゼロ予算

住民自治活動を応援する 地域振興交付金

1億2,647万円 (P.62)

市民が自主的かつ主体的に行う住民自治活動を尊重及び応援し、市と地域との協働を推進するため、各町区長連絡協議会等
に地域振興交付金を交付する
前年10月1日現在の世帯数等により積算

未来へのまちづくりの振興

市民力活性化推進プロジェクト事業補助金

400万円 (P.63)

市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図るため、地域の活力向上や課題解決に向けた取り組みを行う団体などの活動を支援する

各市民局長権限で交付する 市民協働のまちづくり事業補助金

1,600万円 (P.63)

地域コミュニティ活動の充実及び強化を図るため、地区等が行う地区所有施設の整備や村づくり・地域づくりなどに要する経費に対して補助金を交付する
各市民局長の権限で交付

地域コミュニティ活動の拠点となる 地域集会施設の整備支援

3,235万円 (P.64)

地域コミュニティ活動の充実及び強化を図るため、活動の拠点となる地区集会施設等の整備に対して補助金を交付する
9地区：新築1、修繕8

新規

山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金

5万円 (P.73)

「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に参加し、新たにリニア方式を含め新たな鉄道整備を推進するための負担金を徴集
参加団体：50市町村

新規

第2次京丹後市男女共同参画計画策定のための意識調査

103万円 (P.93)

平成27年度策定予定の「第2次京丹後市男女共同参画計画」(H27~H31)の策定資料とするため、市内在住の成人2,000人を対象に意識調査を実施する

未来へのまちづくりの振興

新規

市内介護職員の能力向上のための 介護・福祉人材育成研修実施

293万円 (P.115)

介護職員による「たん吸引等」が可能となる研修講座を市が開催し、市内の介護・福祉人材の能力向上を支援する
定員50人(予定) 受講料: 21,000円

高齢者世帯の水洗化推進支援

1,520万円 (P.150)

65歳以上で構成される高齢者世帯の下水道への接続を後押しするため、既存住宅の新規の排水設備工事に対する補助金5万円に加え、高齢者世帯には補助金を15万円追加し、本市全体の水洗化率の向上を目指す

拡充

地籍調査の本格実施

683万円 (P.237)

平成26年度から本格的に地籍調査に取り組むため、専任の嘱託職員も配置し適正な土地利用の推進と公共事業の効率的な実施を促進する
大宮町森本地域から実施

新規

スマート・エコ、子育て、バリアフリー住宅改修費助成金

2,000万円 (P.248)

建設業の需要拡大を図るとともに、賢い省エネルギー対策(スマート・エコ)、子育て、バリアフリーなどの50万円以上の住宅改修経費の一部を支援する(平成27年度までの2年間)
補助率: 10分の1(上限額: 10万円) 予算額の範囲内で執行

項目合計 16億2,587万円

安心・安全のまちづくりの促進

くらしを守る相談体制の充実・支援

小項目 計 4,004万円

拡充

消費税率引上げにも対応した「くらしの支援ガイド」の発行

241万円 (P.167)

本年4月から消費税率が変更されることもあり、市民のくらしをより一層支援するため、子育てや福祉事業、就学・就職、医療などの助成制度や負担軽減制度を掲載した「くらしの支援ガイド」（平成26年度版）を発行する
発行予定：22,300部

新規

生活困窮の方の就労等支援 「くらし」と「しごと」の寄り添い支援

1,436万円 (P.99)

労困難者それぞれのステージに応じたきめ細かな支援を実施
・仕事力アップ講座
・（仮称）生活困窮者支援の農業体験セミナー
・介護者初任者研修
・就労準備（中間的就労）支援

拡充

生活困窮世帯の子どもの学習支援 「くらし」と「しごと」の寄り添い支援

325万円 (P.99)

生活保護受給世帯の子どもを中心に、貧困の連鎖を防止するため、専任の学習支援員（1人）とスポット的な学習支援員（6人）により、学習支援と学習環境を整える

拡充

自立相談体制の充実 「くらし」と「しごと」の寄り添い支援

1,537万円 (P.99)

「くらし」と「しごと」の寄り添い支援をさらに充実した体制で実施するため、これまでの伴走支援員（5人）に加え、事務補助職員（1人）を新たに任用し、伴走支援員の負担軽減を図り、相談業務に専念できる体制とする

安心・安全のまちづくりの促進

拡充

新たに「精神障害者相談員」配置による相談体制の充実

76万円 (P.107)

平成26年4月から、身体・知的障害者相談員に加えて新たに「精神障害者相談員」を設置し、障害のある方やその保護者等からの相談等により迅速に対応できるよう体制の充実を図る

無医地区や過疎地域等の高齢者への保健師訪問

86万円 (P.114)

寝たきりや認知症等による介護状態を予防し健康長寿を推進するため、無医地区、辺地、過疎地区などの高齢者を対象に、保健師が訪問し健康指導を行う

拡充

「臨床心理士」の新規採用など自殺予防体制を強化

303万円 (P.132)

京都いのちの電話などへのフリーアクセス、街頭啓発をはじめ、臨床心理士を新たに採用し心の健康相談を行うとともに、「いのち・こころ・つなぐ手研修会」を開催し、市民みんなでゲートキーパー推進計画をすすめ、自殺ゼロのまちづくりを推進する
臨床心理士の人件費は事業費に含んでいない

福祉・保健医療分野の充実

小項目 計 27億4,861万円

新規

消費税率引上げ時の国の支援策 「臨時福祉給付金」

2億1,000万円 (P.100)

4月1日からの消費税率の引上げに際し、低所得者に与える影響を鑑み、暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する
平成26年6月以降に給付申請受付(予定)

安心・安全のまちづくりの促進

障害者への福祉サービス給付

14億4,979万円 (P.104)

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付などの支援を行い、障害者福祉の増進を図る

拡充

クリエイトショップ「くりくり」の運営支援

665万円 (P.107)

市内大型店舗に出店しているクリエイトショップ「くりくり」(障害者施設製品販売所)の運営費の一部を支援し、障害者施設製品の販売促進、障害のある方の就労意欲向上・社会参加のほか、多くの市民で支え合う仕組みづくりを目指す

障害者の就労、自立、社会参加促進支援

83万円 (P.107)

障害者短期職場実習の実施や障害者職場実習受入企業等への奨励金、障害者雇用促進奨励金(3万円、最大6か月)などを支給し、障害者の就労、自立及び社会参加の促進を支援する

新規

消費税率引上げ時の国の支援策 「子育て世帯臨時特例給付金」

7,111万円 (P.125)

4月1日からの消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、子育て世帯臨時特例給付金を支給する
平成26年6月以降に給付申請受付(予定)

市民が健康で暮らすための 総合検診

1億346万円 (P.139)

健康診査とがん検診を一度に受診できる総合検診として集団検診の方法で各地域で実施し、早期発見早期治療をすすめる。子宮頸がん検診は一部を医療機関に委託し、個別検診を実施する

安心・安全のまちづくりの促進

新規

公的病院等の運営支援

2,600万円 (P.141)

地域において必要とされる救急医療等の機能を担う公的病院等について、その機能を発揮する上で必要な経費の一部について補助を行う

将来の医師確保のための「医療確保奨学金等貸付金」

1,500万円 (P.143)

市の医療体制の充実に必要な医師の養成及び確保を図るため、市立病院等の地域医療機関における医師の業務に従事しようとする意思を有する者に対し、奨学金を貸与する
一般医師：20万円/月、小児科・産婦人科：25万円/月

拡充

新火葬場の整備・完成

8億6,577万円 (P.157)

平成27年4月の供用開始を目指し、峰山町赤坂地内で新火葬場整備を実施
H26年度は、建築主体、機械・電気設備、火葬炉、舗装・排水、植栽の各種工事及び備品購入など

市民と協働で行う安心安全の確保

小項目 計 2億4,181万円

水と緑の里づくり支援員の設置

217万円 (P.62)

中山間地域に位置し、小規模で自治機能が低下しつつある世帯数が概ね10戸未満の集落で水と緑の里づくり支援員の設置を希望する集落(7集落)に支援員を配置する
支援員6人

安心・安全のまちづくりの促進

新規	新規市営バス路線 「豊栄竹野線」「宇川線」の運行	617万円	(P.71)
-----------	---------------------------------	--------------	---------------

丹後町域に地元NPO法人の協力を得て、新たな市営バス(10人乗り車両)を7月からの運行開始を目指す
(仮称)豊栄竹野線...火・木・土 (仮称)宇川線...月・水・金

拡充	LED防犯灯の設置支援	459万円	(P.74)
-----------	--------------------	--------------	---------------

夜間の犯罪防止及び通行の安全確保とともに、環境にやさしいまちづくりの推進と地域住民の負担軽減を図るため、LED防犯灯を設置する集落等に対し補助金を交付する
補助上限額：電柱等共架3万円、鋼管柱設置9万円

拡充	住民に身近な市道(生活)環境の整備・充実	1億2,905万円	(P.74) (P.238)
-----------	-----------------------------	------------------	---------------------------

地域協働型小規模公共事業

安心安全で快適な生活環境の保全及び地区要望の実現促進を図るため、地区要望のうち小規模な公共事業について、市民局と地域住民が主体となって実施する
市道等補修、ガードレール及びカーブミラー修繕、LED防犯灯設置等

市道維持改修事業

住民の暮らしに密接に関連する市道環境整備については、地区からの改修要望が非常に強いため、本庁部局で実施する市道維持工事等も予算額を増額して生活環境の充実を図る
H25当初予算 8,007万円

	農作物等被害の軽減を目指した 有害鳥獣捕獲	7,195万円	(P.199)
--	------------------------------	----------------	----------------

依然として深刻な有害鳥獣による農作物等の被害軽減を図るため、国や府の駆除単価上乘せ制度を活用しながら、有害鳥獣駆除を猟友会に委託するとともに、丹後2市2町及び兵庫県が連携した広域捕獲も引き続き実施する

安心・安全のまちづくりの促進

新規	サルの個体数調整捕獲の実施（野生鳥獣被害対策協議会負担金）	491万円 (P.199)
-----------	--------------------------------------	----------------------

サルの個体数調整捕獲に必要な群れの行動調査や大型捕獲施設整備を行う京丹後市野生鳥獣被害対策協議会へ必要な経費を負担金として支出する
H26は、サル群れ4群のうち2群を個体数調整（予定）

丹後町域での「サル追い払い隊」の編成	1,097万円 (P.200)
---------------------------	------------------------

サルによる農作物や人身被害の拡大を防止するため、サル追い払い物品を被害地域に配布するほか、「サル追い払い隊」を編成し、パトロール、被害状況調査、防護柵の設置・点検指導を行う
サル追い払い隊は、平成25年秋から編成

木造住宅の耐震改修支援	1,200万円 (P.249)
--------------------	------------------------

地震による木造住宅の倒壊を減らすことを目的に、現在の建築基準に適合する耐震改修工事及び耐震強度が向上するための簡易耐震改修工事に対し補助金を交付する
補助率：4分の3（上限額：本格改修90万円、簡易改修30万円）

災害に強いまちづくりの推進

小項目 計 20億2,873万円

拡充	避難施設（学校体育館）への太陽光発電設備等の設置	6,857万円 (P.149)
-----------	---------------------------------	------------------------

避難所指定されている3つの学校の体育館に停電時にも必要な電力を確保できるよう、太陽光発電設備と蓄電池及び非常用電源の整備を行う
平成25年度補正予算でも3校分を計上

安心・安全のまちづくりの促進

社会資本整備総合交付金事業

2億5,037万円 (P.240)

国の交付金を活用し、道路改築、交通安全、道路修繕工事を実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興を図る
実施予定：継続7路線

社会資本整備総合交付金事業（効果促進事業）

5,926万円 (P.240)

社会資本整備総合交付金等を活用し道路施設の点検を実施するとともに、安心・安全なまちづくり事業を実施する
道路ストック総点検等（舗装修繕計画策定、橋梁点検等）、消防自動車整備事業

拡充

市道橋梁の長寿命化

4,021万円 (P.241)

市道橋梁において、計画的な修繕を行うため15m以上の橋梁の点検を実施するとともに、点検結果に基づき修繕工事を実施する
修繕実施予定：新規6橋梁

拡充

網野地域の内水処理対策

3億4,684万円 (P.246)

網野町浅茂川地区の内水処理対策として、内ヶ森第1ポンプ場の建設工事を河川改修に合わせて実施し、平成28年度からの供用開始を目指すとともに、小栓川排水区、福田川左岸区域におけるゲリラ豪雨等の対策を検討する

拡充

消防・救急デジタル無線の整備・完了

2億3,700万円 (P.257)

平成28年5月末で使用できなくなる、現行のアナログ方式消防救急無線をデジタル化移行するための整備事業を、平成25年・26年の2か年の継続事業として行う

安心・安全のまちづくりの促進

拡充

高機能消防指令システムの更新

4億1,600万円 (P.257)

平成13年度に整備した119番通信指令装置の老朽化に伴い、高機能消防指令システムを更新整備する

拡充

災害時に備えた物資等の備蓄

708万円 (P.261)

保存飲料水やアルファ米の備蓄物資等の他、避難所生活用品として間仕切りセット・仮設ルーム、また、職員の活動用装備として簡易上着と災害用ヘルメットを購入する

拡充

小学校施設の耐震補強・非構造部材耐震性能調査の実施

3億7,829万円 (P.271)

学校施設耐震化計画に基づき、小学校4校の校舎の耐震補強工事を実施するほか、全小学校の非構造部材耐震性能調査も行う
耐震補強：峰山小、吉原小、丹波小、間人小

拡充

中学校施設の耐震補強・非構造部材耐震性能調査の実施

2億2,511万円 (P.279)

峰山中学校校舎に耐震補強を、普通教室等に空調設備を整備するとともに、全中学校の非構造部材耐震性能調査も行う

項目合計 50億5,919万円

健全な行財政基盤づくりの推進

新規

市役所に「行政対応専門員（仮称）」を配置

250万円 (P.44)

行政に対する専門的なクレーム等に対応するため、専門員（1人）を設置し、適正かつ迅速な対応を行う

合併特例措置逓減対策準備基金への積立金

5億56万円 (P.46)

平成27年度以降逓減する普通交付税等の合併算定替及び合併特例事業債の適用廃止に伴う急激な市民サービス等を激変緩和するとともに、削減期間の実質的な延長を目指す
H26末基金現在高見込み 27.5億円

新規

本庁・市民局の再配置実施・調査

1,453万円 (P.51)

弥栄庁舎の移設準備をはじめ、本庁機能を分庁舎方式としている市役所について、今後の在り方等を具体的に検討し、更なる行財政の効率化と市民に対して「わかりやすい市役所」づくりを目指すとともに、跡地等の活用について周辺地域を含めた地域の活性化を図ることを目的に野村克也氏の偉人顕彰施設の整備についてあわせて調査・研究を行う

第2次京丹後市総合計画の策定

535万円 (P.55)

第1次京丹後市総合計画が平成26年度で終了することから、市民が幸福で将来に明るい展望の持てるまちづくりを進めるため、新たなまちづくりのビジョンとして第2次京丹後市総合計画を策定する
計画期間：H27～36（10年間）

市民総幸福の最大化を目指す 幸福度指標等の調査・研究

141万円 (P.56)

「市民総幸福の最大化を目指したまちづくり」に向け、経済的な豊かさだけでなく、健康や環境、人との関係をはじめ多様な価値観、幸福感など市民の幸福とまちづくり（条例化検討を含む）について、調査・研究を行う

健全な行財政基盤づくりの推進

公務品質の向上推進を目指し専門委員を継続配置

143万円 (P.58)

本市職員の能力向上及び時間外勤務削減などを民間の視点により業務改善を行うため、公務品質専門委員を設置する(平成25年10月からの継続配置) 1人、週3日勤務

新規

峰山庁舎での「総合窓口案内係」(コンシェルジュ)の試行的配置

112万円 (P.58)

親しまれる市役所づくりの一環として、峰山庁舎ロビーに「総合窓口案内係」(コンシェルジュ)を試行的に配置し、積極的な声掛けと市役所案内を行うなど、来庁者に優しい市役所づくりを進める 1人、1日5時間、週5日勤務

拡充

「地域にぎわい創り推進員」の各市民局への複数配置

2,434万円 (P.65)

地域の特性や特徴を活かしつつ、市民と行政との協働による地域自治活動等の活性化を推進し、良好な地域社会の形成及び振興をより一層推進するため、各市民局に配置している「地域にぎわい創り推進員」を2人体制に拡充する
2人体制は6月から

項目合計 5億5,124万円

H26年度「ゼロ予算」事業

職員等の「知恵」を活かした取り組みにより事務事業を行うもの

NO	項目名	取り組み内容	所管部課	
1	「住民総幸福まちづくり条例（仮称）」の検討と成案作成	「市民総幸福の最大化」を目指したまちづくりに向け、誰ひとり置き去りにされず、誰もが幸福をますます実感できる住民総幸福のまちづくりに向け、共助、公助等の基本的で共通的なことから高める条例化の検討と成案作成を行う。	企画総務部	企画政策課
2	「生涯現役社会推進条例（仮称）」の検討と成案作成	「百歳長寿のまち」の特長を活かし、あらゆる世代の市民が仕事や社会参加、生涯学習等とおして生涯にわたり「現役生活」を実践し、心身ともに健康な人生を過ごすことができる地域づくりを進めるため、「生涯現役社会推進条例（仮称）」の検討と成案作成を行う。	健康長寿福祉部	長寿福祉課
3	京丹後市商工業振興融資制度の拡充（融資限度額の大幅引き上げ等）	京丹後市商工業振興融資制度を改正し、融資限度額を1,000万円から2,000万円に倍増させるとともに、制度内で資金追加しての借り換えを実質的に可能とすることにより、市内事業者が事業資金を借り入れる際の制度選択の幅を広げ、低利（2.0%）での資金調達の円滑化を図る。	商工観光部	商工振興課
4	「京丹後市新経済戦略プロジェクト」ホームページの開設	京丹後市新経済戦略プロジェクトにより行う商工業振興のための様々な取り組み等について掲載する専用ホームページを無料ホームページを活用して立ち上げ、市ホームページとも連携しながら市内外に向けて情報を発信する。	商工観光部	商工振興課
5	【市制10周年記念事業】 京丹後市起業アイデアコンペティション 全入賞アイデア再発信・事業化促進事業	京丹後市起業アイデアコンペティションにおけるこれまでの入賞アイデアをまとめた冊子を作成・配付するとともに、関連イベントにおいて入賞アイデアのパネル展示を行うなど、その発信を強化して広く周知することにより事業化を促進する。	商工観光部	商工振興課
6	峰山途中ヶ丘公園駐車場増設に向けた検討	峰山途中ヶ丘公園は、毎年多くの陸上競技会及びスポーツ行事が開催され、多くの方に利用いただいているが、現在の駐車台数では大規模な大会時に不足している状況にあるため、利用者の利便性の向上および利用者の増加を図るため、駐車場の増設に向けた検討を行なう。	建設部	都市計画・建築住宅課
7	公共下水道使用料の減額制度（下水道事業関連）	公共下水道の供用開始区域内の住宅または事業所で、平成24年7月1日から3年以内に、既設の浄化槽を廃止して新たに公共下水道に接続し使用を開始した場合、下水道使用料のうち超過料金の全額、また、営業用温泉排水の場合はその額の全額を1年間減額する。なお、平成24年7月1日以降に供用開始となった区域は供用開始の日から3年以内に接続した場合を対象とする。	上下水道部	普及推進・料金課